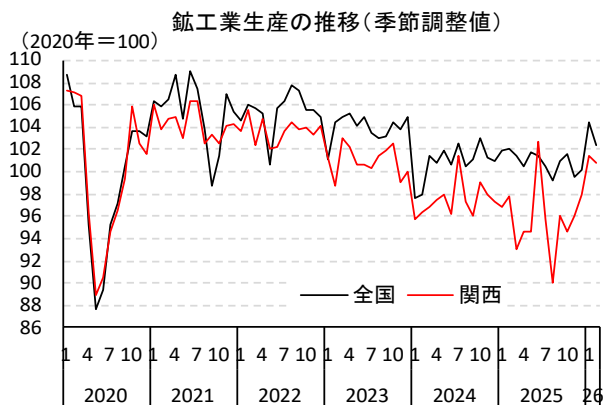
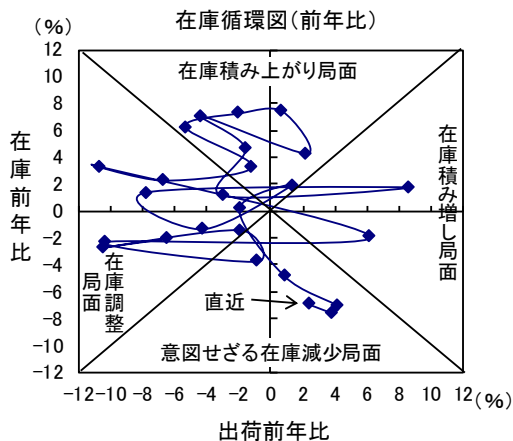
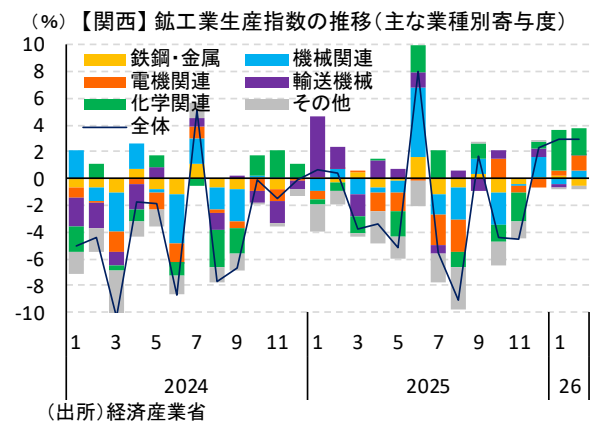
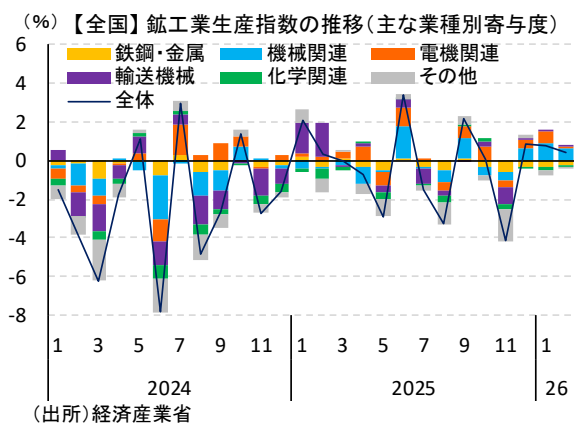


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（26年2月）】

- 26年2月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で3.0%増と、3か月連続の増加となった。業種別には、医薬品や環式中間物などの化学関連や、電池などを中心とした電機関連が伸び、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月と同様に、「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面となっている。これが継続的な動きか否か、来月の動向が注目される。
- 直近の3か月は前年を上回る動きが続いたことで、減少傾向が目立っていた生産水準もようやく持ち直す格好となっている。ただし、増加品目に偏りがみられることから、持続性にやや不安があるほか、3月以降は中東情勢の影響が始まることから、先行きには警戒が必要とみられる。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。